



ONCC

公開文化講座

『羅生門』から『歯車』までの芥川文芸は近代日本の転換期を代表する作品世界です。その時代を聞き続け、35歳で人生と訣別した芥川をひきうけたのが太宰治です。2人の作家に寄り添いつつ文芸の意義と魅力を探って行きます。

講師：細川正義氏
関西学院大学 文学部 名誉教授

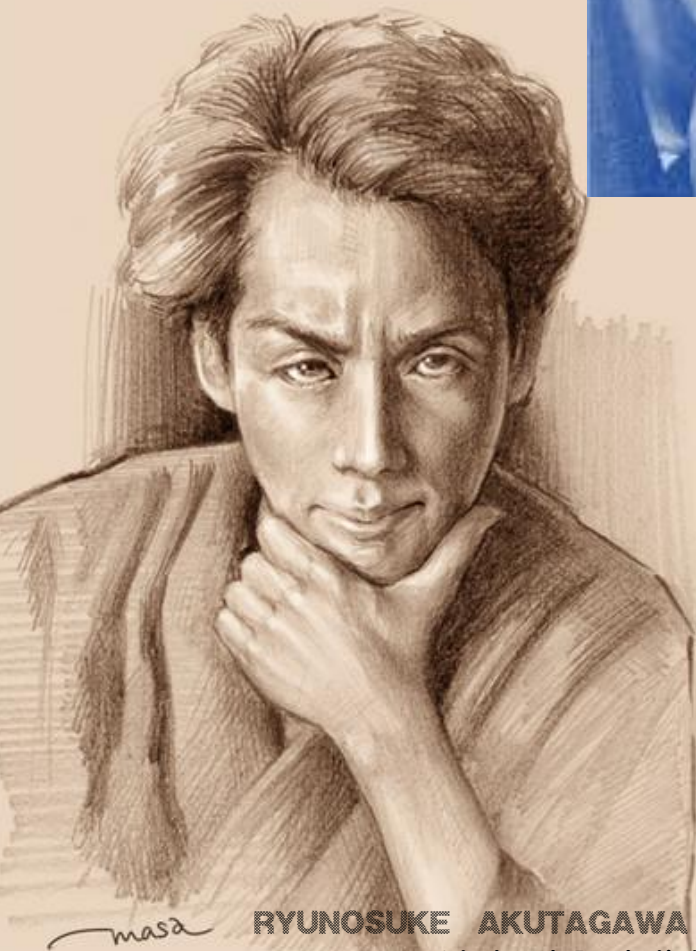
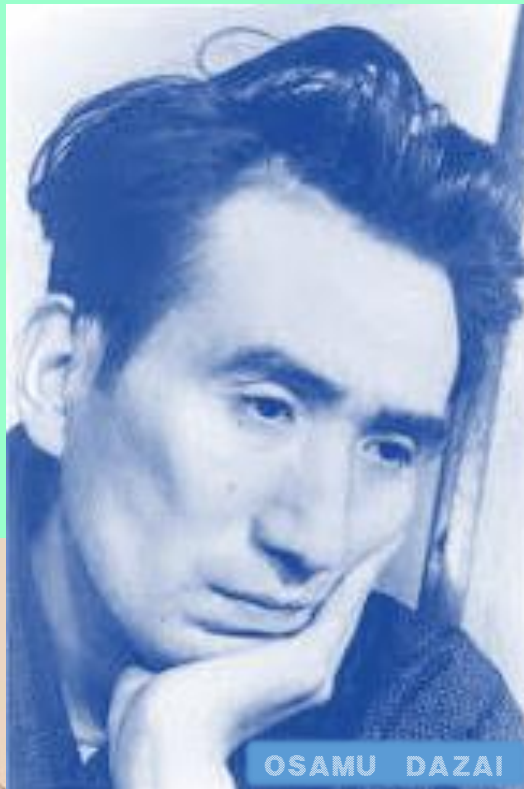
会場：関西アーバン銀行
豊中支店 4階ホール

期間：
平成30年1月22日(月)
～8月27日(月) (全8回)

講義時間：10時～11時30分

受講料：10,000円

定員：50名(先着順)



芥川龍之介・太宰治の

文芸の魅力を探る

詳細裏面参照

NPO 法人 大阪府北部コミュニティカレッジ

講師紹介



細川 正義 名誉教授(博士(文学))

講師 プロフィール

関西学院大学 文学部名誉教授

1977年 関西学院大学大学院文学研究科博士課程後期課程満期退学

専門 日本近現代文芸、日本キリスト教文芸

所属学会 日本キリスト教文学会 役員(関西支部長)、日本文芸学会 常任理事

島崎藤村学会 副会長、国際芥川龍之介学会 監事 他

テーマ・講義概要

第1回～第4回 芥川龍之介文藝の魅力

第1回	1月22日 (月)	「作家芥川の誕生から『羅生門』の成立」 寂寥の中で過ごした少、青年期から読む『羅生門』の魅力。
第2回	2月26日 (月)	「芥川の実生活から芸術へ」 芥川の芸術至上主義の意義を『地獄変』『奉教人の死』で探る。
第3回	3月26日 (月)	「芥川の中国旅行の意義」 大きな変化を与えた中国視察旅行の意義を、出発前の『南京の基督』、帰国後の『支那遊記』から探る。
第4回	4月23日 (月)	「闘う人、芥川の晩年」 不安と怯えの中で闘いぬいた芥川の魅力『河童』『歯車』から探る。

第5回～第8回 太宰治文藝の魅力

第5回	5月21日 (月)	「芥川に憧憬した太宰の出発から『晩年』出版へ」 「道化」の少年時代から、芥川を仰望して作家として出発する太宰の魅力を探る。
第6回	6月25日 (月)	「苦しみからの脱却、明るさへの転換」 孤独な戦いの中で薬物依存におかされた太宰が『二十世紀旗手』の覚悟を持つまで。
第7回	7月30日 (月)	「中期の「アカルサ」の世界の魅力」 昭和14年からの太宰は精力的に執筆活動をした。『女生徒』『走れメロス』『正義と微笑』の魅力を探る。
第8回	8月27日 (月)	「晩年の苦悩と創作への祈り」 必死に闘う晩年の太宰は魅力的である。『斜陽』『ヴィヨンの妻』『人間失格』からプラスの魅力を探る。

受講申込書

ふりがな	<input type="checkbox"/> 男 ・ <input type="checkbox"/> 女
名前	
現住所 〒	
電話	FAX

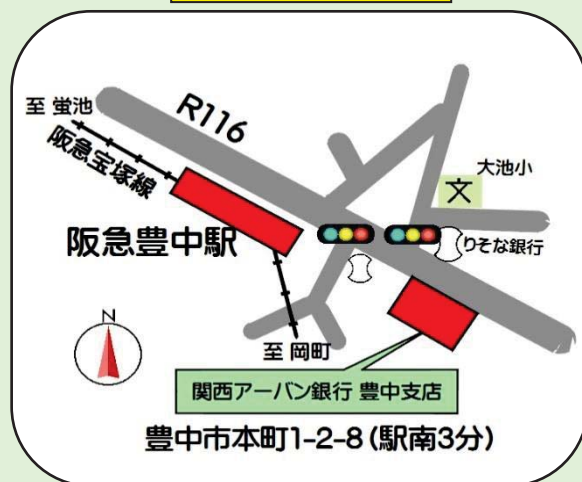
お申し込みは、必ず FAX にて送信くださいますようお願いいたします。
(定員になり次第締め切ります)

申込受付: 2017年11月1日から

申込先: FAX 072-646-9423 (このままFAXして下さい)

お問合せ: ONCC 事業部講座担当 内田(090-9542-4040) まで

会場アクセス



主催 NPO 法人 大阪府北部コミュニティカレッジ

〒567-0888 茨木市駅前 2-5-24 (大福ビル 2 階) TEL:072-646-9422 FAX:072-646-9423